

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度（評価）  
**A**：十分達成できている  
**B**：おおむね達成できている  
**C**：やや不十分である  
**D**：不十分である

様式1（小・中）

学校名	武雄市立東川登小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上は、全職員がそれぞれマイプランの目標達成のために授業力向上を目指して努力することができた。</li> <li>・心の教育の「ふるさとを誇りに思う教育活動」は、東川登町のよさを実感する取組を学年に応じて実施し、成果が見られた。また、毎月の生活アンケートや教育相談週間での面談などの取組は、いじめの未然防止・早期発見につながり、児童が安心して学校生活を送れることにつながった。</li> <li>・健康・体づくりでは、スポーツチャレンジで良い成績を取ることができ、体力向上だけでなく、学級経営にも良い影響が見られた。</li> <li>・ICT活用面では、コロナ禍でリモート授業などタブレットを活用した取組が進んだ。</li> </ul>
------------------	---

2 学校教育目標	生き抜く力の育成「やさしく かしく たくましく」 ～心豊かに自ら進んで学びたくましく生き抜く子どもの育成～ 【めざす子ども像】○人の気持ちによりそう子ども ○「ひと・もの・こと」に関わり、進んで学習する子ども ○望ましい生活習慣を身につけ、元気な心と体でがんばる子ども
----------	---

3 本年度の重点目標	① 日々の授業において、人権が尊重される授業づくりを目指す。 ② ふるさとを誇りに思う教育活動の充実を図る。
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。	・教職員間でマイプランを共有するとともに、ふり返りを年3回行い校内研究等により取組の促進を図る。						
	○全教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の改善。	○「自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝え、相手の考えを理解できた」と答える児童が80%以上。	・「自分の考えをもつ」「伝える」「相手の考えを認める」などの話し合いの目的を明確にした話し合う活動を設定する。 ・児童による授業評価を年に2回行う。						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手の気持ちを考えることができる」と回答した児童95%以上、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童90%以上。	・児童会を中心としたアルミ缶回収等ボランティア活動をより主体性をもたせた取組として改善・充実を図る。 ・道徳教育の充実を図るため、地域の方々や保護者参加型のふれあい道徳を実践する。(教育フェスタ等)						
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校は楽しい。」と回答した児童90%以上。	・Q-Uアンケートや生活アンケート、教育相談週間の活用を通して、いじめに対する迅速かつ組織的対応の徹底を図る。 ・たて割り班活動の充実。						
	◎ふるさとを誇りに思う教育活動	○東川登町の自慢を答えることができた児童90%以上。	・生活科・総合的な学習の時間と関連させてゲストティーチャーを招くなど、地域の特色を生かした学習の充実を図る。						
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●健康に食事は大切であるとする児童95%以上。	・生活状況調査、食に関する意識調査を実施し、日々の給食指導に役立てる。 ・委員会での給食週間の取組を充実させる。 ・定期的に保健だよりや食育だよりを発行する。						
	○自分の命を守るための防災教育の充実	○災害時に自分の命は自分で守ることがまもることが大切であるとする児童が95%以上。	・年間の避難訓練や外部講師を招いての防災教室などを通して児童の防災意識を高める。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間を順守する。	・月1回それぞれの職員に自分の勤務状況を示し、勤務時間の縮減を図る。 ・「働き方改革」を推進するための協議の場を年間2回以上設定する。						
	○定時退勤日の確実な実行	○「定時退勤日を実行できた」と答える職員が90%以上。	・毎週金曜日を定時退勤日に設定し、お互いに声をかけ合い、18:00までに退勤できるようにする。						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○ICT活用教育	○教育の質の向上に向けたICT活用教育の充実	○電子黒板やタブレットを使ってまとめたり、発表したりする学習で自分の考えを伝えることができた」と回答した児童90%以上。	・参観授業等で年2回以上タブレット端末を活用した授業を行う。 ・電子黒板やタブレット端末の活用法や実践事例についての研修を行う。						
○官民一体型教育	○地域学校協働本部を活用した教育の充実	○地域の方に教わりながらする学習は自分のためになっている」と回答した児童90%以上。	・全学年で地域学校協働本部事業計画に基づいた教育活動を意図的・組織的に学習に取り入れて実施する。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--